

◆経済倶楽部講演会第4264回（10月26日）

米国中間選挙・トランプ弾劾・ 日米貿易摩擦を読む

米国弁護士 湯浅卓

- *再選にはこれまで以上の努力が必要
- *対ロシアでは交渉の先行き混迷を露呈
- *民主党が中国離れした理由
- *トランプが点数稼ぎで狙う中国、日本
- *中国に接近する安倍政権を狙う為替条項
- *日本の危機は少子化問題にある
- *トランプにとって中国より叩き易い日本
- *少子化問題を日米の教育制度から考える
- *米国の献金は非上場の民間企業が多い
- *トランプはなぜ米国中心主義を掲げるのか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、ニューヨークで弁護士をされておられる湯浅さんにおいでいただきました。ご記憶かと思いますが、2年前、ちょうどトランプ大統領が当選する直前にここでお話をいただき、アメリカでも日本でもヒラリー圧倒的優勢という中で、トランプの当選に言及された唯一の方だったと思います。

日本のメディアは日本人に当たり障りのないことしか報道しませんので、現地の状況をしっかり見ておられる湯浅さんに、また中間選挙を目前にしましてお話を伺いたいと思います。

その後に大統領が再選するかどうかという問題もありますが、いずれにしても、日本にとってはたいへん厳しい状況がこれから始まるという

ことで、この行く末について今日はじっくりお話を伺いたいと思います。

それでは湯浅さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

再選にはこれまで以上の努力が必要

湯浅 ご紹介賜りました湯浅卓です。よろしくお願ひ申し上げます。

私は、トランプさんのことは個人的によく知っているので、湯浅卓個人としてはトランプさんにぜひ2020年に再選してもらいたいとずっと願っているんですが、後でもしお部屋に入ってこられる方にはお気の毒なんです、一言だけ最初に言ってしまうと、（10月26日時点で）かなり厳しい状況ですね。トランプさんが